

文部科学省 科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(全国ネットワーク中核機関(群))

全国ダイバーシティネットワーク組織
九州・沖縄ブロック

— 活動紹介 —



全国ダイバーシティネットワークとは



男女共同参画社会や多様な個性・能力が尊重されるインクルーシブな社会の実現のために、文部科学省と連携して、大学や研究機関、企業等における女性研究者の育成や研究環境・研究力の向上を目指す諸機関をつなぎ、国内外の取組動向や参考事例(グッドプラクティス)を収集・公開し、全国的な普及・展開を図ることを目的に、2018年に創設されました。幹事機関として大阪大学が事業を統括しており、全国ダイバーシティネットワーク組織と全国ダイバーシティネットワークプラットフォーム(OPENeD <https://www.opened.network/>)によって構成され、全国8ブロック176機関(2020年12月15日時点)が参画しています。

全国ダイバーシティネットワーク組織「九州・沖縄ブロック」紹介

九州・沖縄ブロックには、幹事機関である九州大学、長崎大学、宮崎大学を含め13機関が参加しています。(2021年3月時点)

【行動目標】ダイバーシティを認め合える教育・研究環境の整備を通じ、新たな「知」の創出を目指す。

目標 1

既に構築している九州・沖縄地区の女性研究者支援や男女共同参画に関するネットワークと連携・協力し、グッドプラクティスの事例を共有しながら九州・沖縄ブロックの活動を推進する。

目標 2

アジア・オセアニアへの玄関口である地域の特色を活かし、国際的視点からダイバーシティ推進へ向けた情報や成果を発信する。

目標 3

活躍しやすい研究環境の整備を通じ、女性研究者の増加を目指すとともに、次世代の育成を推進する。

【取組内容】

●九州・沖縄ブロック会議の開催

会議委員は参加機関の理事・副学長で構成され、各大学での課題や有用な取組等を共有し、運営方針を決定する。

- ー2018年度 九州・沖縄ブロック会議(2019年1月25日 於 九州大学)
- ー2019年度 九州・沖縄ブロック会議(2019年9月20日 於 九州大学)
- ー2020年度 九州・沖縄ブロック会議(2020年11月5日 Zoom)

●シンポジウム等の開催

既存の九州・沖縄地区のネットワークと連携・協力し、女性研究者支援等に関するシンポジウムを共同で開催する。

- ー2019年度 全国ダイバーシティネットワーク組織九州・沖縄ブロック シンポジウム「女性の活躍推進に向けて～支援から戦略へ～」(2019年9月20日 於 九州大学)

●セミナーの開催

ダイバーシティ推進ならびにダイバーシティ推進へ向けた地域連携に関する事項をテーマに開催する。

- ー2018年度 九州・沖縄ブロック会議設立セミナー「女性活躍促進と国際化:OISTの事例」(2019年1月25日 於 九州大学)
- ー2020年度 オンラインセミナー「グローバル化によって深化するダイバーシティ、その光と影～相互の影響とこれからの可能性について考える」(2021年2月5日 Zoom)

●学習会等の開催

ダイバーシティ推進ならびにダイバーシティ推進へ向けた地域連携に関する取組事例等を調査し、状況を共有する。

- ー2020年度 オンライン学習会(2021年2月18日 Zoom)

●全国ダイバーシティネットワークウェブサイトへの情報共有

九州・沖縄ブロックの活動実績・成果を全国ダイバーシティネットワークウェブサイトへ情報提供し発信することで、全国への普及を図るとともに各機関の取組の参考とする。



2019年度 全国ダイバーシティネットワーク組織九州・沖縄ブロック シンポジウム(2019年9月20日)



九州・沖縄ブロック会議(2019年1月25日)

九州・沖縄ブロック2020年度の取組

オンラインセミナー

「グローバル化によって深化するダイバーシティ、その光と影～相互の影響とこれからの可能性について考える」

- 日時:2021年2月5日(金)13:30～15:30
- 方式:オンライン(Zoom)
- 参加者:約90名
- 企画担当:九州大学、九州工業大学、久留米大学、福岡女子大学、宮崎大学



●ゲストの主な発言

浦亜弓さん(トレーニングファシリテーター):ダイバーシティ(多様性)には、性別・人種など認知しやすいものと、職歴・価値観などコミュニケーションを取らなければ認知できないものがある。昨今、ダイバーシティ推進は「経営戦略として取り組むべき課題」と位置付けられてきたが、表層的な理解にとどまっている組織が多いようだ。多様性を受け入れ(インクルージョン)、シナジー効果を生み出すためにも、スキルとしての対立調整力やアサーティブなコミュニケーション力を身に付けながら、長期的に取り組んでいく必要がある。

野村浩子さん(ジャーナリスト):ダイバーシティ推進について「HOW(どうやって取り組むか?)」が議論されることが多いが、そもそも「WHY(なぜ取り組むのか?)」という組織ごとの哲学が共有されていないことが多いと感じる。ダイバーシティ推進の阻害要因となりがちなアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)を意識しながら、行動変容を促す仕組みを作る必要がある。また、ダイバーシティ推進は国・組織の成長戦略としても不可欠だが、何よりもまず人権としての課題であることを常に意識することが必要だろう。

●参加者の感想(抜粋)

アンコンシャス・バイアスについて、良質なコミュニケーションを心掛けること、「無意識」を「意識」で克服していくことが肝要なのだと感じた/漠然と理解していたダイバーシティを具体的にイメージできた

オンライン学習会

- 日時:2021年2月18日(木)13:30～15:30
- 方法:オンライン(Zoom)
- 参加者:11大学(沖縄科学技術大学院大学、鹿児島大学、九州大学、九州工業大学、九州産業大学、熊本大学、久留米大学、佐賀大学、長崎大学、宮崎大学、琉球大学)、計22名
- 企画担当:沖縄科学技術大学院大学、九州産業大学、佐賀大学、長崎大学

●報告内容

全国ダイバーシティネットワーク組織九州・沖縄ブロックとして、初めてとなるオンライン学習会を開催した。学習会は、(i)趣旨説明・自己紹介、(ii)グループワーク、(iii)全体共有の3部構成で進めた。

グループワークはZoomのブレイクアウトルーム機能を用い、参加者を4グループに分け実施した。テーマは、①昨年1年をふりかえってどうだったか、②2月5日開催の九州・沖縄ブロックオンラインセミナー(上記)に参加しての振り返りとし、講演会の感想や各大学の課題についてディスカッションをおこなった。4グループとも、「ダイバーシティの影とは何か」、「WHY(なぜダイバーシティを推進するのか)という根本的な問い)をどうやって組織内で共有するか」など、各々活発な討議がなされていた。

会終了時には参加者から「ダイバーシティを推進する上で、トップダウンと同様に現場から上層部に働きかけるボトムアップも重要だと感じた」、「他大学と情報を共有し知識をブラッシュアップできた」、「今回得た情報を他部署にも広げたい」などの感想が得られた。

今回、初めて学習会に参加する者も多く、所属部署もダイバーシティや男女共同参画関連だけでなく多岐に渡っており、様々な立場からの意見を共有することができた。引き続き、本学習会を貴重な交流の場として継続していきたい。



オンライン学習会 全体の様子

大分大学

4企画で展開するサファイア(SAFIRE)人財育成プロジェクト

「ダイバーシティ推進活動における“女性活躍推進”の取組実態に関する調査」(2018)から大分地域の課題を抽出、大学と連携・参加企業でつくるおおいた連携ダイバーシティ推進会議が、4プロジェクト(異業種交流会、おおいた人財育成プログラム、社内人材の透明化と交流、女性職員チャレンジ制度)をすすめています。なかでも、オンラインによる女性企業人の学び直し「おおいた女性人財育成プログラム」が好評です。地域の大学の役割をいつも意識して、地域社会内の横のつながり、大学ネットワークの広がりを大事にしています。



取組図:サファイア人財育成プロジェクト



沖縄科学技術大学院大学

多様な人材が活躍できる学内環境の整備

- ・テニユアトラック教員が、出産・養育縁組・育児に関する保護者としての責任を果たすため、雇用契約の延長及びテニユア審査の延期を求める事ができる方針「Stop-the-Clock Policy」を策定しています。
- ・大学院在学中の女性及びそのパートナーを対象とした「妊娠・出産・育児支援に関する基本方針」を定め、学業との両立を支援しています。
- ・教職員、学生及びその家族を対象とした日英語学クラスの提供、キャンパスと沖縄での生活に関する情報提供、クラブ活動や地域活動への参加の推進、心身の健康維持を支援する部署を設置しています。
- ・キャンパス内の保育施設「チャイルドディベロップメントセンター」では、教職員及び学生の子供を対象とした日英バイリンガルでの幼児教育、学童保育を提供しています。
- ・LGBTQI+に対する配慮として、キャンパス内に「ジェンダーフリートイレ」を設置しています。



ジェンダーフリートイレ



鹿児島大学

異分野融合研究プロジェクト創出研究助成事業(女性枠・若手枠)

本学は、ライフサイエンス系の女性研究者で構成するワーキンググループ(WiSH WG)の企画を重点戦略と位置づけ、女性研究者の潜在能力(Potential)を引き出し、リーダーシップ(Leadership)を培うために、大学一丸となった(Unity)ダイバーシティ研究環境を持続(Sustainability)する「WiSH PULS:ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業(先端型)」を実施しています。

本取組はその一つであり、従来の事業に女性枠を設置し、女性研究者の能力向上及びリーダー育成を目的とした研究費の助成を行っています。また、若手枠で若手研究者支援も行っています。



異分野融合研究者交流会での女性研究者の発表の様子

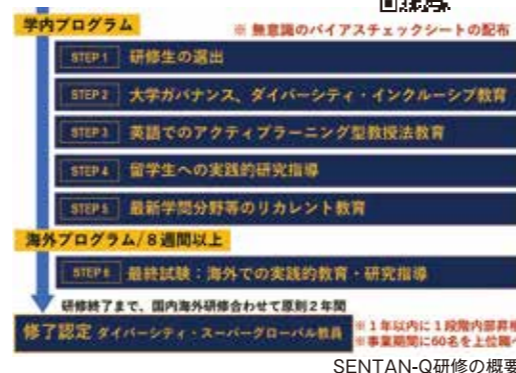


九州大学

ダイバーシティ・スーパーグローバル教員育成研修(SENTAN-Q)

九州大学は、2019年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」に選定され、標記研修を開始しました。

2-3年以内に上位職あるいは管理職への登用が見込まれる部局推薦の優秀な女性ならびに若手教員に対し、原則2年間のSENTAN-Q研修を施し、世界と伍して戦える真に実力のあるダイバーシティ・スーパーグローバル教員として育成します。目標レベルに到達した教員には認定書を与え、原則1年以内にテニユアの付与あるいは1段階の内部昇格を行います。(https://sentan-q.kyushu-u.ac.jp/)



九州工業大学

2つの「九工大方式」

「男女共同参画推進室」とは別に「男女共同参画推進会議」を設置し、推進会議と推進室の両方の機能と役割を明確に分離した点が、九州工業大学の取組の特長です。

女性教員人事に関する目標に関しては、学長のリーダーシップのもと、推進会議で対応し、教員人事全般に関わる人財活性化推進会議との連携体制を構築することで、スムーズな目標達成を可能としています。

女性教員に関する具体的な支援や研究環境整備等は推進室が担当しているが、今後も継続的かつ安定的な支援を行うため、人事課との連携を強化し協働で事業を推進すべく、体制の見直しを進めています。



特色ある取組



九州産業大学・九州産業大学造形短期大学部

男女共同参画社会を担う学生の育成 学生からの発信

学園の男女共同参画基本方針において、重点分野の一つに「男女共同社会を担う学生の育成」を掲げています。

地域共創学部・山下永子教授のゼミナールでは、男性の家事・育児参画を切り口とした男女共同参画の課題に継続的に取り組み、大学生対象の将来の育児や働き方に関する意識調査などを実施しています。また、ゼミ生によるワークショップ企画が、福岡県男女共同参画センター主催「あすはるフォーラム」の県民企画事業に3年連続で採択され、調査結果の報告や男性育休取得経験者との意見交換会等を通じて、学生の視点からの発信活動にも主体的に取り組んでいます。



「あすはる男女共同参画フォーラム2019」でのワークショップ



熊本大学

多様な働き方をサポート…熊本大学託児ルーム

子育てと仕事の両立支援のひとつであり、子育て中の教職員が業務に柔軟に対応出来るようにするため、2019年度、大学直営保育園、病児保育室に加え、新たに「託児ルーム」を設置しました。ワークスペースとキッズスペースを完備し、ニーズに合わせて貸し出しを行っています。個人利用の他、祝日授業日や大学入学試験の託児等、また授乳や妊娠中の休憩スペースとしても利用されています。また、本学で開催される学会等へ託児用備品の貸し出しも行っています。

また、男女共同参画推進の一環として行っているランチ会(育児・介護情報交換会)の開催場所として利用しており、ライフイベントに係わる情報交換が行える等、学内における様々な支援の拠点となっています。



託児ルーム



久留米大学

KG-PROJECT

・事業実施体制:開始当初は、文系学部との連携を深めながら医学部内での事業を進め、事業期間内には文医融合の名のもとに、文系学部も巻き込んだ全学での取り組みとします。

・DI(ダイバーシティ・インクルージョン) Dayの開催:女性研究者を対象とした"内村助成金"(研究者枠5名、チャレンジ枠5名)対象者の研究発表の場として、年2回開催します。当日は、女性研究者のキャリア形成の講演会や英語論文の書き方講座、また研究者同士の横のつながりを作る場を設け、DIに一日どっぷりと浸かってもらいます。

・クラウドシステムやオンライン会議の推進:全学でのオンライン会議や、クラウドシステムを使った学会発表スライド・研究論文の資料の共有を促進します。

・人事評価システムの構築:既存の医系教員自己評価システムを見直し、それをブラッシュアップするとともに、各部署での効果的な人事評価の導入方法を検討することで、女性研究者や若手研究者のモチベーションの高まる研究環境の創出を目指します。



KG-PROJECT 実施体制



佐賀大学



継続・育成型STEAMガールズin SAGA・SASEBO

佐賀大学では①教職員のワークライフバランスの充実、②女性研究者の研究力向上や教員数増加のための働きかけ、③次世代育成の3つの柱を軸に日々取り組んでおります。

特徴的な取組の1つに、女子中高生の理系進路選択支援があります。これは国立研究開発法人科学技術振興機構による「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の支援の下、女性研究者育成の観点から中高大接続を行うものです。県境をまたいで近隣の大学(西九州大学・長崎国際大学)と一丸となること、コロナ禍で新たなアプローチを考案する等、学内や地域で注目度の高い取組となっています。



佐賀大学、西九州大学、長崎国際大学による「継続・育成型STEAMガールズin SAGA・SASEBO」定例会見の様子

長崎大学



学内および地域に向けての仕事と介護の両立支援

長崎大学では2016年度から、介護コンシェルジュを配置し、教職員の介護に関する悩みや困りごとなどの相談に個別かつ緻密に対応し、学内・学外の活用できる制度の情報提供などの支援を行っています。年々相談者も増え、介護離職の防止、ワークライフバランスの実現に貢献しています。

また学内での仕事と介護の両立に関する学びの場である「仕事と介護の両立ワークショップ」の開催、学生の理解を向上することを目的とした「ケアラーサポーター育成研修講座」を実施して、理解啓発および具体的な方法を概説しています。こうした取り組みは学内の意識の変容に大いに役立っています。さらに地域住民のための「ケアラース交流会」を年6回実施し、「地域で学び、地域で支える」仕組み作りを行っています。



介護支援の地域への拡大

福岡女子大学



女性研究者支援者制度

この制度では、本学の学部生、大学院生または本学既卒者を研究支援者とし、妊娠中や低年齢児の育児中、介護中の女性研究者、そしてこのような女性研究者をパートナー(配偶者など)に持つ本学の男性研究者が研究支援を受けられます。支援内容は、実験・調査の補助や文献収集、翻訳など多岐にわたっています。

この制度が生む効果として、育児や介護により研究時間の限られた研究者の作業時間が短縮され、効率的に研究を遂行することが可能となり、研究と育児・介護の更なる両立が見込まれます。また、研究支援者は支援を通して研究者の活動を身近で感じることで、研究への興味や理解が高まると考えられます。



女性研究者支援制度

宮崎大学



上位職への女性登用に大きな効果をもたらしたアテナプラン

宮崎大学では2016年から「女性教員の上位職への登用のためのポジティブアクション(通称:アテナプラン)」を運用しています。この制度は、十分な資質と実績を持つ本学の女性教員(自然科学系)を、公募によらず上位職へ登用するもので、昇任に伴う人件費は学長裁量経費により負担します。

2021年2月現在、5名の教員が教授に昇任し、学科長やセンター長など管理・運営でも活躍しています。本プランの運用は、自然科学系における女性教授・准教授の増加(8名から16名)や一般公募教員の選考など、本学ダイバーシティ推進に大きな影響を与えています。



本学女性研究者による実行委員会が企画・開催した国際シンポジウム(2017年)

琉球大学



オーガナイザー養成支援

学内だけでなく学会や外部委員会等の企画や運営等においてもリーダーシップを発揮できる人材を育成することを目的に、女性教員自らがオーガナイザーとして企画・運営に携わり、ゲストや講師を招聘して行う研究発表会やセミナー・シンポジウムの開催に対して、一部費用の補助を含め事業の実施を支援しています。

育児や介護等によって国際学会等への参加が困難な場合や、ライフイベントからの復帰を目指す女性研究者にも、本支援を活用することで研究へのモチベーションアップやスキルアップの機会となることを期待しています。



オーガナイザー養成支援による研究会の開催

九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク 紹介



九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク(women's encouragement/empowerment association in Kyushu, 愛称:Q-wea)とは、九州・沖縄地域において文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」をはじめとした女性研究者支援事業に携わる大学等のゆるやかなネットワークです。

2009年9月に開催された「宮崎発!第1回九州アイランド女性研究者支援シンポジウム」を契機に活動をスタートしたQ-weaは、実務担当者間の密接な交流を活動のベースに、女性研究者支援や働きやすい環境づくりに関する意見・情報交換を行っています。また、連携による相乗効果・波及効果を目指して、シンポジウムの開催や広報活動、担当者のスキルアップを目的とした学習会など様々な活動を進めています。

●主な活動内容

▶九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム

参加機関が持ち回りで主催し、年1回開催しています。2009年からこれまでに計11回実施しています。

▶Q-wea実務担当者連絡会

参加機関の担当部署等の長(男女共同参画推進室長等)が出席し、今後のシンポジウム主催大学の確認やQ-wea事務局による過去1年間の活動報告を行っています。また、各大学の活動紹介や情報交換の機会となっています。原則、年1回開催しており、2014年からこれまでに計6回実施しています。

▶Q-wea学習会

参加機関の担当者同士の情報交換のみならず、担当者のスキルアップやQ-weaに対する理解を深める機会としています。原則、年1回開催しており、2010年からこれまでに計12回実施しています。

▶Q-weaミーティング

Q-weaの活動に関する検討、参加機関の担当者同士の情報共有、意見交換の場として行われています。2014年からこれまでに計6回実施しています。

●参加機関(2021年3月時点)※50音順

大分大学、沖縄科学技術大学院大学、鹿児島大学、九州大学、九州工業大学、九州産業大学、熊本大学、久留米大学、佐賀大学、長崎大学、福岡大学(※)、福岡女子大学、宮崎大学、琉球大学

※以外の機関は、九州・沖縄ブロック参加機関と重複しています。詳細は「九州・沖縄ブロック参加機関」を参照ください。



学校法人 福岡大学
研究推進部 研究推進課
住所/福岡県福岡市城南区七隈八丁目19-1
電話/092-871-6631 (代表)
Mail/suisin@adm.fukuoka-u.ac.jp
http://www.suisin.fukuoka-u.ac.jp/jyosei/

●事務局(2020年10月~)

宮崎大学 清花アテナ男女共同参画推進室



「九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム」(2018年9月14日)



Q-weaスペシャルミーティング(2016年12月1日)



サテライト企画「女性研究者が教える大学の学び・女子学生のすてきな未来」(2018年9月15日)

九州・沖縄ブロック参加機関



国立大学法人 大分大学
男女共同参画推進室
住所／大分県大分市大字且野原700番地
電話／097-554-8573
Mail／fsupport@oita-u.ac.jp
http://www.fab.oita-u.ac.jp/



学校法人 久留米大学
ダイバーシティ・インクルージョン推進室
住所／福岡県久留米市旭町67
電話／0942-65-4719
Mail／d_inclusion@med.kurume-u.ac.jp
https://d-inclusion.kurume-univ.jp/



学校法人 沖縄科学技術大学院大学学園
人事ディビジョン、労務セクション
住所／沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919-1
電話／098-982-3633
Mail／diversity@oist.jp
https://www.oist.jp/ja



国立大学法人 佐賀大学
ダイバーシティ推進室
住所／佐賀県佐賀市本庄町1番地
電話／0952-28-8393
Mail／diversity@mail.admin.saga-u.ac.jp
https://www.oedi.saga-u.ac.jp/



国立大学法人 鹿児島大学
男女共同参画推進センター
住所／鹿児島県鹿児島市郡元1丁目21-24
電話／099-285-3012
Mail／gender@kuas.kagoshima-u.ac.jp
https://www.kagoshima-u.ac.jp/atshime/



国立大学法人 長崎大学
ダイバーシティ推進センター
住所／長崎県長崎市文教町1-14
電話／095-819-2889
Mail／omoyai_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp
https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp/



国立大学法人 九州大学
男女共同参画推進室
住所／福岡県福岡市西区元岡744
電話／092-802-2034
Mail／office@danjyo.kyushu-u.ac.jp
https://danjyo.kyushu-u.ac.jp/



公立大学法人 福岡女子大学
地域連携センター
住所／福岡県福岡市東区香住ヶ丘1-1-1
電話／092-692-3198
Mail／manabi1@fwu.ac.jp
http://www.fwu.ac.jp/frsupport/



国立大学法人 九州工業大学
男女共同参画推進室
住所／福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1
電話／093-884-3212
Mail／danjo-sankaku@jimukyutech.ac.jp
https://www.kyutech.ac.jp/gender/



国立大学法人 宮崎大学
清花アテナ男女共同参画推進室
住所／宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1
電話／0985-58-7508
Mail／info-athena@med.miyazaki-u.ac.jp
https://www.miyazaki-u.ac.jp/kiyohana/



学校法人中村産業学園
九州産業大学・九州産業大学造形短期大学部
男女共同参画推進室
住所／福岡県福岡市東区松香台2丁目3-1
電話／092-609-9455
Mail／danjo-office@ml.kyusan-u.ac.jp
https://www.kyusan-u.ac.jp/



国立大学法人 琉球大学
ジェンダー協働推進室
住所／沖縄県中頭郡西原町千原1番地
電話／098-895-8675
Mail／gender@acs.u-ryukyu.ac.jp
http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/



国立大学法人 熊本大学
男女共同参画推進室
住所／熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号
電話／096-342-3281
Mail／gender@jimukumamoto-u.ac.jp
http://gender.kumamoto-u.ac.jp



【発行】
全国ダイバーシティネットワーク組織
九州・沖縄ブロック

2021年3月

幹事機関：九州大学、長崎大学、宮崎大学
企画担当：大分大学、鹿児島大学、熊本大学、琉球大学